

学校教育目標

- 基礎・基本を大切に、ねばり強く学び続ける態度を育てます。 【知】
- 社会の基本的なルールやマナーを身につけ、自立する力を育てます。 【徳】
- 心と体を健やかに、はぐくみます。 【体】
- 互いのよさを認め合い、共に生きていこうとする態度や力を育てます。 【公】
- 人とのかかわりを豊かにし、社会への視野を広げる態度を育てます。 【開】



〈ホームページアドレス〉 <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kamishirane/>



上白根中 HP

「分かる」ために絶えず活動する

副校長 安富 直樹

友達に力説している姿がありました。「昨日、ようやく分かったよ。」「よかったじゃん。これで苦手なところ、なくなって。」「ちがう、ちがう。分かんないところが分かったんだよ。」「えっ、何、どういうこと。」「何が分かっていないのかが、分かったってこと。」「ううん、よく分かんねえ。」「まあ、いいよ、おれすっきりして幸せだから。」「・・・。算数の「この三角形の中から二等辺三角形をすべて選びなさい」問題を例にして考えてみます。二等辺三角形の定義を知っていて、それをもとにして分けることができました。そのことは言い換えれば、三角形の性質を分かっているということになります。二等辺三角形なんて「見れば分かるよ。」という段階にたどり着くまで、正三角形との違いを見極めて分けるという段階があったと思います。様々な段階を経て、「分かった。」ということになります。その生徒は、友人に「分かっていないことと、分かっていることとをきちんと分けることができた」ことで、もっと分かることがこれから増えるという、この瞬間の喜びを伝えたかったようです。

佐伯^{ゆたか} 胖氏（東大名誉教授）は、『「わかり方」の探究』（小学館 2004）の中で、「人は生まれながらにして、分かろうとしている。（中略）いつも分からない状態から分かる状態へむけての過渡期状態のままにいるし、さらに分かろうとして絶えず活動しつづけている」と述べています。また、「子どもたちが『分かった！』のは、ある文化的価値を自分自身の自発性の下に積極的に受け入れた」瞬間であるとし、力説していたということは、分かる状態へと絶えず活動を続けている中での発言に他ならないと思われるのです。

「分かる」へ向けての過渡期を今も過ごす上中生は、コロナ禍でも感染症対策を工夫した日々の授業や様々な行事、「命の授業」の中でのお話などから多くの刺激を受け、さらに分かろうとしながら過ごしています。先日の車いすバスケットボール体験をした1・2年生は、振り返りを読むと、これまでの自分の知識を総動員して、街の中が車いすにとって優しいかどうかを考えていました。ここで、また「分からないことを分かろう」とする新しい種が蒔かれました。大人になっても「分からないことが分かるようになろう」と、もう一度学び直したいと思い、大学や専門学校に通ったり、通信教材や本などを利用したりして、繰り返し分かろうとする人がたくさんいます。多様性が叫ばれる中で、ひとつの正解ばかりを求めていると、「間違えてしまった。」で思考が止まり、「分かろうという気も起きない」ことになります。小さな「分かる」を一つ一つ続けることで、自分の知っているおおよその範囲が自覚（メタ認知）できるようになります。この範囲を少しずつ広げながら、上中生にはこれからも、分かろうとする活動を続けていってほしいと思います。

創立50周年記念式典

令和3年11月20日（土）に上白根中学校創立50周年記念式典が行われました。

本来は、昨年行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度に延期されていました。今年度もコロナ禍ということもあり、祝賀会を行わず、式典も生徒・教職員・周年行事実行委員のみの参加とし、内容も縮小した形で行いました。しかし、地域の方や中心になる予定であった昨年度の3年生のご家庭にも見ていただけるように、『YouTube Live』で配信し、多くの方に見ていただき記念の式典を行うことができました。



マスクをし、小さい声ながらも『校歌』を歌い、実行委員の方々より上白根中学校の歴史を話してもらいました。また、生徒会の企画では、50年間を振り返るスライドショーをアナウンス入りで見ました。そして4名の卒業生の方々より、温かいビデオメッセージをいただき披露しました。幕間の生徒会企画による「上白根中クイズ」も好評でした。最後に、〔記念誌〕と〔記念品〕の紹介をしていただきました。

ライブ配信はしませんでしたでしたが、式典の前に「来夢祭ステージ発表」を行い、ドラム演奏やダンスや図書委員・吹奏楽・情報科学部のコラボ発表も行いました。

みんなで知恵を絞りながら、いろいろな方々の協力のおかげで、素晴らしい式典を行うことができました。

50周年スローガンとマスコット



記念誌



令和3年度 来夢祭

令和3年11月20日（土）「50周年記念式典」とともに「来夢祭」が実施されました。昨年は新型コロナの影響で中止になってしまいましたが、今回は44回目の実施。有志団体2組、文科系部活出演と小規模でしたが、上白根中の伝統を繋ぐことができました。1年生、矢島さんのドラム演奏をスタートに、3年生青木さん・佐藤さんのダンス。そして、吹奏楽部・情報科学部・図書委員会コラボによる朗読の発表内容でした。効果として、美術部による来夢祭文字の演出もあり、最後の来夢祭振り返りビデオは、次の「50周年記念式典」につながる映像になりました。



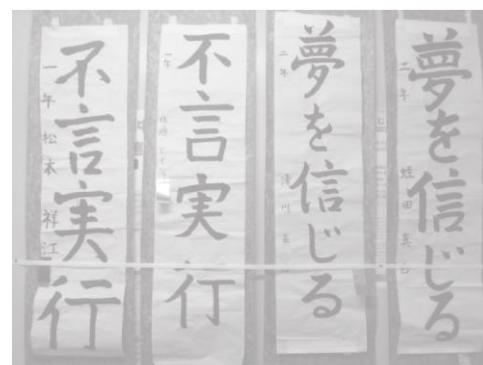
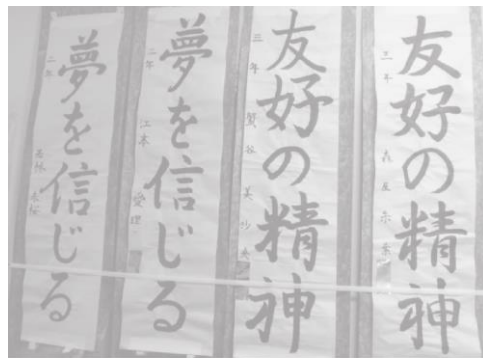
校内書き初め展

1月7日（金）から1月28日（金）まで「校内書き初め展」として、各教室に書き初めが掲示されています。

その中から金賞、銀賞、銅賞の書き初めを選び、金賞の作品については職員室前の廊下に掲示されています。学校に来られる機会がありましたら、ぜひ見ていただきたいと思います。

また、総合文化祭「書写展」が桜木町の市民ギャラリーで行われました。

上白根中学校からは2年1組の江本愛理さんの作品が、学校代表として展示されました。



2月の予定

- 3日 ハローワーク講演会
- 4日 3年学年末テスト
- 7日 新入生保護者説明会
- 10日 私立一般入試
1年職業講話
- 15日 3年公立高校共通選抜検査（～18日）
- 16日 1, 2年学年末テスト（～17日）
- 22日 3年修学旅行（京都・奈良方面）（～23日）
- 26日 3年社会見学（東京方面）

3月の予定

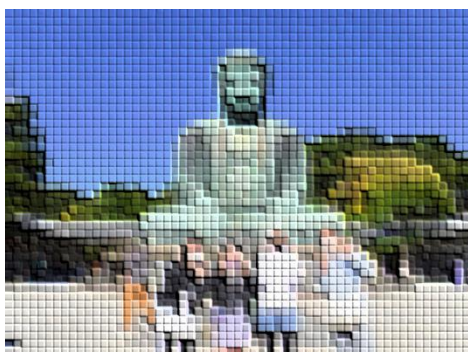
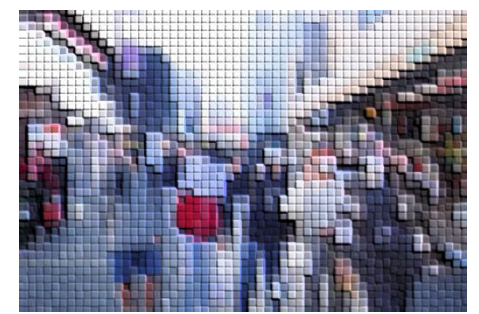
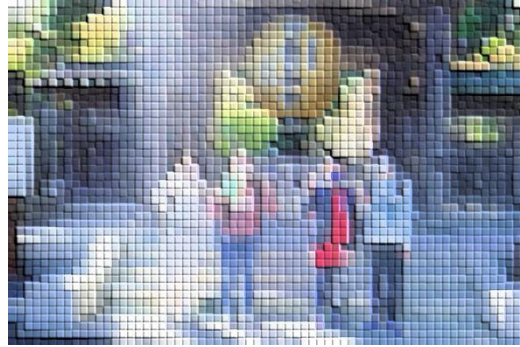
- 1日 3年公立高校共通選抜合格発表
- 3日 講演会
- 4日 来夢祭（合唱コンクール）
- 8日 3年生を送る会
- 9日 第51回卒業証書授与式
- 11日 2年生徒保護者進路説明会
- 25日 令和3年度修了式
- 26日 年度末・春季休業（～4/6）

次号は3月25日（金）発行予定です。

1年生鎌倉自主見学

10月29日（金）鎌倉自主見学に行ってきました。中学校に入学して初めての校外学習だったこともあり、当日の朝は気持ちが高ぶっている様子でしたが、時間に余裕をもって集合することができました。前日までの指導の中で「時間を守ろう！」ということは何度も何度も伝えてきました。鎌倉市内をバスで移動する際や帰りのバスの集合も時間のゆとりをもって行動しようという姿勢が伝わってきました。時間がギリギリになりそうな時は汗をかきながら必死に走ってくる場面が見られました。体験学習も時折、無言の時間が流れ、集中して取り組むことができました

事後学習の一環で書いたお礼状（寄せ書き）も体験場所の方々に大変喜んでいただきました。また、アンケートでは多くの子どもたちが満足感を得られる結果となりました。このような姿を見て職員一同、子どもたちの成長やたくましさを感じることができました。今回の経験をこれからの生活に生かしてほしいと願っています。



2年生自然教室を終えて

10月20日から3日間、2学年は「地域の方や自然と触れ合い 思いやり、礼儀を学ぼう」のスローガンのもと、長野県戸狩へ自然教室に行ってきました。

自然豊かな戸狩では、「箸づくり」、「食材探しハイキング」、「農作物の収穫」など、宿ごとにさまざまな体験をすることができました。一つひとつの体験を生き生きと取り組み、笑顔で過ごしていたことが印象的でした。班で協力して助け合った経験を、これからの学校生活で生かしていきます。

